

II 芸術文化事業の状況（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

- ・文芸館

ギャラリー、視聴覚ホール(定員 198 名)、交流アトリウム、文化活動室、会議室、和室、日本自分史センター、文化情報プラザ、スカイフォーラム

- ・市民会館(定員 1,022 名)

- ・東部市民センター（定員 495 名）

1 自主文化事業

(1) 文芸系事業

事業名	自分史活動支援		
ミッション	4 地域コミュニティ形成—つながる		
日時	通年		
会場	日本自分史センター、インターネット配信		
入場料等	無料		
利用者数	1,189 名	利用率	—
		自主財源比率	—
収入	—	助成金	—
		支出	829,112 円
事業内容	<p>(1) 日本自分史センター運営 全国の自分史関連団体や個人の自分史作品を受け入れ、収集・保存・公開を行う。 会場：日本自分史センター（月曜休み 9:00～19:00） 利用者数 611 名／蔵書 8,561 タイトル／寄贈 48 タイトル／書籍貸出 52 冊</p> <p>(2) 自分史相談 専門の相談員が無料で行う「自分史相談」を定期的に開催し、文章の書き方から書籍発行まで、レベルや要望に合わせて相談に応じている。 4～9月まで／毎週火曜日 10～3月より／第2・第4火曜日 13:00～17:00 相談員：芳賀倫子 相談日数 32 日／相談件数 72 件</p> <p>(3) ポッドキャスト番組「そしておしゃべりは続く」 ネット上での発信や双方向コミュニケーションを目的にした、自分史相談のオンラインバージョン。リスナーからの感想や質問なども番組に取り入れ、進行している。 毎月 5 日、15 日、25 日に約 25 分の番組を計 31 回配信 出演：尹雄大（もの書き、インタビュアー）、古橋敬一（フィールドワーカー、愛知学泉短期大学講師） 第 16 回ゲスト：石堂有紀（高槻中学校教員） 配信場所：Spotify、amazon music、You Tube Music フォロワー数：552 名 再生数：15,214 回</p>		
関連事業	<p>ポッドキャスト番組「そしておしゃべりは続く」公開収録イベント 11/17（日）14:00～16:30 場所：港まちポットラックビル 参加料：300 円 参加者数：26 名 出演：尹雄大（もの書き、インタビュアー）、古橋敬一（フィールドワーカー、大学講師） ライブ：しょうにゅうどう（河合慎五、西本さゆり） ※港まちづくり協議会との共催。参加料は港まちづくり協議会の収入</p>		

成 果	<p>(1) 公共施設が自分史事業を柱にしているのは珍しく、全国各地から来館者が訪れている。文化情報プラザにも本棚を設置し、効果的な自分史のアピールを進めている。</p> <p>(2) 「自分史相談」では自分史を作りたい人はもちろん、自分史制作後の報告にも訪れている。自分史サークルの定期的な制作活動は、地域交流の場を作りあげている。</p> <p>(3) 今年度からスタートした取り組み。これまで自分史を届けにくかった30～50代のリスナーが約7割と、自分史の新たなアプローチとなっている。リスナーからの投稿や、港まちづくり協議会からの誘いにより公開収録イベントを開催し、双方向コミュニケーションが実現している。</p>
備 考	

事業名	自分史講座		
ミッション	3 普及啓発ーひろがる		
会 場	文化活動室、特別室、スカイフォーラム		
受講者数	計74名	受 講 率	— 自主財源比率 31.0%
収 入	97,800円	助 成 金	— 支 出 315,906円
事業内容	<p>(1) 「モヤモヤを話す、聞く」</p> <p>① 6/30 (日) 14:00～16:30 特別室 参加料:300円 参加者数:11名 講師:古橋敬一 (フィールドワーカー、愛知学泉短期大学講師)</p> <p>② 9/7 (土) 14:00～16:30 特別室 参加料:300円 参加者数:12名 講師:古橋敬一 (フィールドワーカー、愛知学泉短期大学講師)</p> <p>③ 11/16 (土) 18:00～20:30 スカイフォーラム 参加料:300円 参加者数:28名 講師:尹雄大 (もの書き、インタビュアー)、古橋敬一 (フィールドワーカー、愛知学泉短期大学講師)</p> <p>(2) 「エッセイ講座」</p> <p>7/6、13、27、8/3、17、24、9/7の土曜日 10:30～12:30 全8回 文化活動室 受講料:4,000円 受講者数23名 講師:芳賀倫子 (日本自分史センター相談員、シナリオライター)</p>		
成 果	<p>(1) 昨年度開催した「劇場等文化施設を活用した孤独・孤立対策のための地域交流拠点の整備事業」で好評を得て開催したセッション。モヤモヤしていることを複数人でシェアし、生きづらさや悩みを解きほぐす時間を持つもの。見ず知らずの仲だからこそ話せる場があり、書くだけでなく、話す・聞く「自分史」の可能性を広げた。また屋外で初開催し、フランクな場づくりに努めた。</p> <p>(2) 書くことを楽しんでもらうために、一人ひとりが作品を発表、他人の作品を聞く時間も有意義であると評判のエッセイ講座。土曜日の午前中に開催し定員以上の応募があった。お盆を挟んだため全体の期間は長かったが宿題を書く時間が十分とれ、毎回力作が仕上がった。また、講座内で発表した文章を参加者同士でまとめて簡易本にするという、自主的な活動が生まれた。芳賀氏が講師を務めるエッセイクラブへ10名入会した。</p>		
備 考			

事業名	公募自分史		
ミッション	3 普及啓発ーひろがる		
募集期間	6/15(土)～10/16(水)		
審査員	一次審査：古橋敬一（フィールドワーカー、愛知学泉短期大学講師） 二次審査：芳賀倫子（日本自分史センター相談員、シナリオライター）、小松原康平（元・中日新聞記者）、池田望未（古本屋かえりみち/ゲスト審査員）		
入場料等	無料		
利用者数	—	利用率	—
収入	54,020 円	助成金	—
データ	応募数/261 作品 作品集への掲載/15 作品 作品集/1 冊 500 円（税込）		
事業内容	初心者でも比較的取り組みやすい短編の自分史作品を全国から公募。22 回目を迎えた。今回のテーマは「待つ」とし、自分史作品を募集した。		
成果	応募点数は昨年より 140 作品増加し、過去 2 番目の応募数となった。6 歳から 90 歳までの幅広い年代からの作品が集まり、30 代以下の応募が半数を占めた。また、昨年度から掲載者の交流会を開催し、コミュニティの醸成に努めた。		
備考			

(2) 美術系事業

事業名	小松宏誠展「光と影のモビール 空と歌」		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	4/26(金)～5月19日(日) 10:00～17:00 21日間 月曜休館		
会場	ギャラリー		
出品作家	小松宏誠		
入場料等	700 円、高校生以下・未就学児・障がい者及び介助者 1 名入場無料		
入場者数	15,107 名	入場率	—
収入	6,023,831 円	助成金	—
事業内容	光と影、空気や音を利用し、重力から解放されたかのような繊細な動きを生み出すモビールアートを作り出すメディアアーティスト・小松宏誠の個展。映し出された影が多彩に変化し、絵画的な空間を創出する。		
成果	入場者数の目標を大幅に上回り、収益面でも大きな黒字を達成。Instagram など SNS を使った話題拡散により、普段文化フォーラムに訪れない市民も多数来場し、会期中に財団公式 LINE の登録者数は 9,991 名増加した。アンケート結果では、展覧会の内容について「満足」「まあ満足」との回答が 98.5% を占めた。毎週水曜日と木曜日には、赤ちゃん連れの来場者にも気兼ねなく鑑賞していただけるよう、ベビーウェルカムタイムを設けた。		
関連事業	ワークショップ「ふうせんの雲」 4/27(土) ①10:30～12:00 ②13:30～15:00 会場：交流アトリウム 参加料：無料 参加者数 92 名 講師：小松宏誠		
備考			

事業名	金子みすゞ展「100年の時を越えて 展覧会 金子みすゞの詩」		
ミッション	2 鑑賞—みせる		
日時	11/29（金）～12/22（日）10:00～17:00 21日間 月曜休館		
会場	ギャラリー		
出品作家	金子みすゞ、ほか影響を受けた作家17名		
入場料等	800円、大学生500円、高校生以下・未就学児・障がい者（介助者1名）入場無料		
入場者数	1,909名	入場率	— 自主財源比率 32.9%
収入	1,288,367円	助成金	360,000円 支出 5,002,995円
事業内容	「みんなちがって、みんないい」、「見えぬけれどももあるんだよ」といったフレーズで親しまれている、童謡詩人 金子みすゞの詩を紹介する展覧会。若き童謡詩人の巨星と評されながらも、26歳で死去した稀有な人生を、作品や写真、絵本原画、当時の資料とともに紹介する展覧会。		
成果	本展覧会は、多くの来場者の滞在時間が1時間以上に及んだ。来場者からは『みすゞの詩の世界観に感動した』『展示の構成が分かりやすかった』といった好評の声が寄せられ、関連企画の講演会も136名が参加し、内容の充実度と来場者の満足度の高さが際立つ展覧会となった。		
関連事業	講演会「童謡の誕生と金子みすゞ」 11/30（土）10:00～11:30 会場：交流アトリウム 参加費：無料 参加者数：136名 講師：矢崎節夫（童謡詩人・金子みすゞ記念館館長）		
備考	助成／瀬戸信用金庫地域振興協力基金		

事業名	安藤シオン 「カガヤク物語」		
ミッション	2 鑑賞—みせる	6 人材育成—はぐくむ	
日時	2/14（金）～3/9（日）10:00～17:00 21日間 月曜休館		
会場	ギャラリー		
出品作家	安藤シオン（イラストレーター）		
入場料等	無料		
入場者数	8,146名	入場率	— 自主財源比率 50.2%
収入	777,260円	寄付金	228,342円 支出 2,003,185円
事業内容	春日井市および周辺地域にゆかりのある新進作家を支援し、広く紹介する「新進作家支援事業」として、春日井市出身のイラストレーター・安藤シオン氏を紹介した。色鉛筆を駆使して描かれた作品271点を展示した。		
成果	企画段階から作家と対話を重ねて支援し、質の高い展示内容を実現した。アンケートの満足度も高く、作品の魅力を広く紹介できた。入場者数は8,146名を記録し、リピーターや市外からの来場者も多かった。物販が好評で寄付金も多く寄せられるなど、入場無料の展覧会としては高い収益を得ることができ、作家のステップアップとなるような展覧会になった。		

関連事業	安藤シオン先生の「色鉛筆で鮮やかな世界を描こう！」 ① 2/16 (日) 10:00~12:30 ② 3/8 (土) 10:00~12:30 会場：会議室 参加料：小中高生 500 円、一般 1,000 円 講師：安藤シオン 参加者数：①19 名 ②17 名 計 36 名
備考	

事業名	みんなの美術部 2024		
ミッション	6 人材育成—はぐくむ		
入場料等	デッサン (自画像) 小中学生 500 円 デッサン (手) 中高生 1,000 円 デッサン (全身) 高校生 1,500 円、一般 3,000 円 貝合わせ 中高生 3,000 円、一般 5,000 円 色鉛筆 小中高生 500 円、一般 1,000 円 間伐 1,000 円		
参加者数	125 名	入場率	—
収入	205,000 円	助成金	450,952 円
		自主財源比率	82.1%
事業内容	誰でも参加できる部活として、様々なジャンルの講座を企画。作品制作だけでなく、鑑賞することや話し合う時間も重視して実施した。 [前期] (1) 山田雅哉先生の「デッサンに挑戦して、“みる力”を磨こう！」 ① 7/14 (日) 10:00~12:30、② 7/14 (日) 14:00~17:00、 ③ 7/15 (月・祝) 10:00~15:00 会場：会議室 参加者数：①14 名 ②15 名 ③15 名 計 44 名 講師：山田雅哉 (日本画家) (2) 瀧下尚久先生の「平安時代に親しむ～日本画材で描く貝合わせ～」 7/21 (日) 10:00~15:00 会場：会議室 参加者数：19 名 講師：瀧下尚久 (日本画家) [後期] (3) 安藤シオン先生の「色鉛筆で鮮やかな世界を描こう！」 [再掲] ① 2/16 (日) 10:00~12:30 ② 3/8 (土) 10:00~12:30 会場：会議室 参加者数：①19 名 ②17 名 計 36 名 講師：安藤シオン (イラストレーター) (4) 林幸秀先生、林韓燮先生の「親子で森と木にふれあい、間伐材を使っていすをつくらう！」 ① 2月 22 (土) 9:30~14:30 ② 3月 1 日 (土) 9:30~14:30 会場：春日井市少年自然の家 参加者数：①12 名 ②14 名 計 26 名 講師：林幸秀 (造形作家)、林韓燮 (名古屋柳城女子大学准教授)		

成 果	10代から70代までの幅広い年齢層の参加者を集め、世代間交流を促進することができた。絵画に興味のある人が多いことから、前期はデッサン講座を開催し、好評を博した。貝合わせ講座では、これまでの美術部と違った内容で新たな参加者が増加した。後期は、ギャラリーで開催中の展覧会「安藤シオン展」の内容に合わせて色鉛筆講座を開催。講師の作品を観るとともに、展示作品と同じ作品を制作することができた。間伐講座では、体験的な活動を通し、参加者が新しい発見が得られる場を十分に提供することができた。
備 考	助成／子どもゆめ基金

(3) 舞台系事業

事業名	劇団四季ファミリーミュージカル「エルコスの祈り」		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日 時	5/4 (土・祝) 15:00～17:00		
会 場	市民会館		
出 演	劇団四季俳優		
入場料等	S席 6,000円、A席 4,000円 子ども(3歳～小学生) S席 4,000円、A席 3,000円 (183名)		
入場者数	946名	入場率 97.2%	自主財源比率 117.7%
収 入	4,848,730円	助成金 ー	支 出 4,118,437円
事業内容	日本を代表するミュージカル劇団・劇団四季のファミリー向け公演。良質なミュージカル鑑賞機会を提供するとともに、子供たちの舞台鑑賞へのファーストステップとしていただくため3歳から鑑賞できる公演とする。		
成 果	「身近なホールで劇団四季のミュージカルを家族と共に観ることができて嬉しい」、「子どもにとって初めてのミュージカル鑑賞だったが、満足しているようだった」といった保護者の声が多数あった。カーテンコールでは、出演者が客席で観客と共に歌うという東京公演ではなかった演出もあり、会場はさらに盛り上がった。		
備 考			

事業名	Gentle Forest Jazz Band with 神野美伽「あの頃の、ビッグバンドと、ブギウギと」		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日 時	5/18 (土) 16:00～18:00		
会 場	市民会館		
出 演	Gentle Forest Jazz Band、神野美伽		
入場料等	5,000円、25歳以下 2,500円 (8名)、学生の特券(小中高生) 500円 (39名)		
入場者数	822名	入場率 96.2%	自主財源比率 71.4%
収 入	3,718,058円	助成金 ー	支 出 5,210,624円

事業内容	演歌歌手でありながら様々なジャンルのステージで活躍する神野美伽と、Gentle Forest Jazz Bandによるコンサート。NHK連続テレビ小説「ブギウギ」で登場した笠置シズ子の楽曲をメインにジャズナンバーを演奏する。
成 果	朝ドラ人気の効果もあり、幅広い年齢層の方が訪れた。バンドメンバーのコミカルなキャラクターと華やかな演奏、神野美伽のパワフルな歌唱で会場は盛り上がった。子どもがアンコールする場面もあり、みんなで音楽を楽しむ温かな雰囲気でのコンサートとなった。
関連企画	5/18(土)名古屋芸術大学生仕込み・リハーサル見学(2年生37名) 統括プロデューサーが財団の概要や本公演の企画の狙いを説明し、舞台セットの仕込みとリハーサルを見学した。また、名古屋芸術大学卒の当財団職員が、仕事についての説明を行った。
備 考	

事業名	三谷幸喜×戸田恵子「虹のかけら ～もうひとりのジュディ」		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日 時	6/14(金) 19:00~20:30		
会 場	市民会館		
出 演	戸田恵子、荻野清子(ピアノ)、BUN Imai(ドラム)、鈴木陽子(ベース)		
入場料等	6,000円、25歳以下2,500円(11名)、学生の特券(小中高生)500円(44名)		
入場者数	893名	入 場 率 96.2%	自主財源比率 90.9%
収 入	4,927,737円	助 成 金 ー	支 出 5,421,157円
事業内容	戸田恵子の還暦のお祝いに、三谷幸喜が作・脚本・演出を手掛けた一人芝居。映画「オズの魔法使い」で一躍有名となったミュージカル女優ジュディ・ガーランドの専属代役兼付き人であったジュディ・シルバーマンの視点で物語が展開される。春日井公演は、アメリカ・カーネギーホールで上演する舞台のプレビュー公演として実施。		
成 果	戸田恵子の出身地が愛知県ということもあり、春日井市にちなんだエピソードトークで観客を惹きこみ、そこからジュディの人生についての物語で感動を誘った。アンケートには「戸田さんの歌唱力に圧倒された」「さすが三谷さんの脚本。最後のオチにはやられた」といった声が寄せられた。		
備 考			

事業名	東京楽所 雅楽公演		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日 時	7/7(日) 15:00~17:20		
会 場	市民会館		
出 演	東京楽所(演奏・舞)、野原耕二(司会進行)、多忠輝(楽器紹介)		
入場料等	5,000円、学生の特券(小中高生)500円(64名)		
入場者数	972名	入 場 率 97.8%	自主財源比率 93.2%
収 入	4,432,115円	助 成 金 ー	支 出 4,756,671円

事業内容	宮内庁式部職楽部の楽師を中心に結成された雅楽団体の春日井初公演。令和5年度の「昼コン&夜コン」で試験的に取り上げた雅楽が好評であったため、日本を代表する雅楽団体・東京楽所の公演を実施する。
成 果	七夕に因んだ管絃・朗詠と、同時期に放送されていた NHK 大河ドラマの内容に合わせ「源氏物語」に登場する舞楽を、丁寧な解説つきで上演した。大河ドラマ人気の影響もあり、発売直後から堅調な券売を記録し、最終的に完売した。アンケートでは継続的に招聘を望む声も多かった。
備 考	

事業名	舞踊劇 御伽ノ介絵巻 其の壺 桃太郎		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日 時	8/10 (土) 13:30~15:00		
会 場	市民会館		
出 演	梅川壺ノ介(舞踊)、三遊亭鳳志(語り)、朝来桂一(ヴァイオリン)、林紋子(ピアノ)		
入場料等	おとな 3,800 円、こども(3歳~高校生)500 円 (195 名)		
入場者数	384 名	入 場 率	39.8%
		自主財源比率	13.1%
収 入	608,959 円	助 成 金	—
		支 出	4,655,894 円
事業内容	バレエダンサーから転身した日本舞踊家・梅川壺ノ介氏が創作する、解説付き日本舞踊公演。梅川氏の現代的な感覚により、クラシック音楽やアニメーションと古典が融合した、親子で楽しめる日本舞踊の公演。		
成 果	アニメーションと楽器の生演奏がファンタジックな空間を盛り上げた。また囃家と梅川氏のコミカルな掛け合いも、子どもたちに好評だった。初めて日本舞踊を鑑賞した親子も多く、幼少期に日本舞踊に触れられる機会となった。		
備 考			

事業名	OKB 大垣共立銀行 presents 第 48 回春日井まつり前夜祭 よしもとお笑いライブ in 春日井		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日 時	10/18 (金) 19:00~20:30		
会 場	市民会館		
出 演	西川のりお・上方よしお、まるむし商店、ガクテンソク、ザ・パンチ、金属バット、スカチャン、タモンズ、おばたのお兄さん、Everybody、オレンジ田中 (前説)		
入場料等	4,500 円、25 歳以下 3,500 円 (129 名)		
入場者数	610 名	入 場 率	64.1%
		自主財源比率	110.0%
収 入	5,161,155 円	助 成 金	—
		支 出	4,691,905 円
事業内容	春日井まつり実行委員会から業務を請け負っている「春日井まつり前夜祭」。今年度は例年と趣向を変え、よしもとのお笑い芸人によるライブを開催した。		

成 果	結成 16 年以上の漫才師による大会「THE SECOND」の 2024 年の優勝コンビなど、実力派の芸人計 10 組が登場した。情報公開や広報手段に悩み、来場者数は 6 割ほどだったものの、会場は終始笑いに包まれ、「テレビで見るのと全然違うんだと思った」「春日井でお笑いが見れてよかった」という感想が多く寄せられ、満足度の高いライブとなった。
備 考	主春日井まつり実行委員会、春日井市 特別協賛/OKB 大垣共立銀行

事業名	令和 6 年度 松竹大歌舞伎		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日 時	11/14 (木) ①12:00～14:45 ②16:30～19:15		
会 場	市民会館		
出 演	中村錦之助、中村隼人、市川笑三郎、市川青虎、上村吉弥、他		
入場料等	昼の部：S 席 8,800 円、A 席 6,800 円、B 席 4,800 円、25 歳以下 2,500 円（1 名） 夕方の部：S 席 7,800 円、A 席 5,800 円、B 席 3,800 円、25 歳以下 2,000 円（9 名）、学生の特券（小中高生）1,000 円（2 名）		
入場者数	計 794 名	入場率 38.8%	自主財源比率 61.7%
収 入	6,283,986 円	助成金 —	支 出 10,190,598 円
事業内容	春日井市で約半世紀近く開催している歌舞伎公演。身近な場所で一流の伝統芸能に触れることができる機会として浸透している。今年度は、中村隼人からの「ご挨拶」のあと、人気演目「双蝶々曲輪日記一引窓」と「身替座禅」を披露した。		
成 果	人気俳優による見ごたえのある演目で、内容については満足度が高かった。特に、冒頭の「ご挨拶」は中村隼人が素顔で客席に登場し、来場者と触れ合いながら公演の見どころを紹介するもので、感激する来場者も多かった。集客面については、平日 2 回公演ということで苦戦した。文化協会所属団体への予約の取りまとめや市内呉服店への営業を行ったが、目標達成には至らなかった。		
関連事業	<p>(1) 葛西聖司の極付！歌舞伎セミナー 10/14 (月・祝) 13:30～15:00 市民会館 入場料 500 円 ※春日井市民会館開催「松竹大歌舞伎」チケット提示で無料 入場者数 158 名 講師：葛西聖司（伝統芸能解説者、元 NHK アナウンサー）</p> <p>(2) 歌舞伎ソムリエおくだ健太郎の直前解説 11/14 (木) 昼の部 11:00～11:30/夕方の部 15:30～16:00 視聴覚ホール 参加料：無料 ※春日井市民会館開催「松竹大歌舞伎」チケット提示 参加者数：昼の部 72 名、夕方の部 121 名 講師：おくだ健太郎（歌舞伎ソムリエ）</p>		
備 考			

事業名	キーウ・クラシック・バレエ「くるみ割り人形 —全幕—」		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日 時	11/23 (土・祝) 15:00～16:55		
会 場	市民会館		
出 演	長澤美絵、オレクシー・ニャズコフほかキーウ・クラシック・バレエ		

入場料等	6,800円、25歳以下3,500円、子ども（4歳～高校生）1,500円（122名）、バレエ鑑賞サポートプログラム※3,400円（限定241組） ※子ども無料、同伴の保護者1名は一般価格の半額、子ども1名と保護者1名のペア		
入場者数	953名	入場率 95.8%	自主財源比率 97.6%
収入	3,484,569円	助成金 1,141,700円	支出 4,739,672円
事業内容	令和4年度の『白鳥の湖』に引き続き、3大バレエの一つである「くるみ割り人形」を全幕ご覧いただく。バレエ教室の数も多い春日井で、プロのバレエ公演を鑑賞する機会を提供する。		
成果	安価で子どもと一緒に鑑賞できる、バレエ鑑賞サポートプログラムを用意したこともあり、チケットは公演1か月以上前に完売した。来場者の大半はバレエを習う親子であったが、踊りの美しさと「くるみ割り人形」の演出に魅了されていた。また、時世を踏まえ、国外で活躍するダンサーを応援するコメントが多く寄せられた。		
関連事業	リハーサル見学会（市内6大バレエ教室所属者を対象） 11/23（土・祝）13:15～14:00 対象：バレエ教室の生徒とその保護者（キーウ・クラシック・バレエチケット購入者） 参加者数：24名（保護者含む）		
備考	助成／文化庁「芸術・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業」		

事業名	米国空軍太平洋音楽隊 ファイナル・アプローチ		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	1/19（日）14:00～15:15		
会場	市民会館		
出演	米国空軍太平洋音楽隊 ファイナル・アプローチ（演奏者8名）		
入場料等	1,500円、学生の特券（小中高生）無料（42名）		
入場者数	747名	入場率 74.7%	自主財源比率 125.1%
収入	1,063,511円	助成金 —	支出 850,122円
事業内容	米軍横田基地に所属するプロ・ミュージシャンによるポップス・バンド。米軍の広報活動の一環として全国を巡回している。今回の公演では60年代、70年代のアメリカのヒットソングを中心に、ゲストに女性ボーカルを迎えて演奏された。		
成果	企画当初はビッグバンドでの来演が期待されていたものの小編成での来演となったため、演奏者にかかる経費が見込みを下回り結果的に自主財源比率が100%を超えた。これは、小編成になっても来場者数が目標に近い数値となったことによる。これまでに春日井で類例のない企画でもあり、期待していたファンも多かったと思われ、来場者の反応もよく大変盛り上がった。上演中に音楽隊から市長への開催に対する感謝状の贈呈もあり、音楽を通じた国際友好親善の温かな雰囲気を会場一体で共有することができた。		
備考			

事業名	きりく・ハンドベル アンサンブル		
ミッション	2 鑑賞—みせる		
日時	2/8 (土) 15:00～16:50		
会場	市民会館		
出演	きりく・ハンドベル アンサンブル		
入場料等	3,800 円、学生の特券 (小中高生) 500 円 (54 名)		
入場者数	559 名	入場率 58.5%	自主財源比率 92.1%
収入	1,704,402 円	助成金 —	支出 1,851,382 円
事業内容	ハンドベル界のトップ奏者として世界的に活躍する、大坪泰子が主宰するアンサンブルのコンサート。多数のハンドベルを演奏する圧巻の技や、大小様々なベルの響きは、ハンドベルのイメージの刷新となる。		
成果	公演中、来場者はハンドベルの音色に集中し、引き込まれている様子であった。アンケートには、やわらかな音色や使用するベルの多さへのコメントが多く見られ、目でも楽しめるコンサートとなった。また、馴染みのある曲が多く、具体的に曲名を上げたコメントが多くあった。		
備考			

事業名	東京民謡倶楽部コンサート		
ミッション	2 鑑賞—みせる 3 普及啓発—ひろがる		
日時	3/2 (日) 14:00～16:00		
会場	市民会館		
出演	東京民謡倶楽部		
入場料等	2,500 円、学生の特券 (小中高生) 500 円 (13 名)		
入場者数	427 名	入場率 42.7%	自主財源比率 76.4%
収入	794,061 円	助成金 2,900,000 円 (地域創造)	支出 4,836,083 円
事業内容	「和の音、和の文化の日常化」を目指す津軽三味線奏者小山豊の呼びかけにより、音楽ジャンルを超え、世界で活躍する演奏家たちが結集した東京民謡倶楽部によるコンサート。編曲により「今の音楽」として再生した民謡を、幅広い世代に楽しんでいただく。		
成果	「春駒・かわさき」では、前日に開催した民謡 WS への参加者を中心に、総勢 100 名程が会場内を踊り歩き盛り上がった。初対面の人々が踊りと民謡によって一つになった様子を見て涙したという来場者も複数いた。世界で活躍する演者らの演奏も素晴らしく、原曲を保ちつつ現代風に編曲された民謡も、幅広い年齢層に受け入れられた。身体中で民謡の魅力を感じられるコンサートとなった。		
関連事業	(1) かわいい演奏を聴いて、弾いてみよう!津軽三味線! 8/15 (木) ①11:00～12:00 ②13:30～14:30 会場:視聴覚ホール 参加料:200 円 参加者数①7名 ②10名		

講師：小山豊、武田佳泉（東京民謡倶楽部）
(2) 民謡ワークショップ
3/1（土）14：00～ 視聴覚ホール 参加料：無料（春日井市民会館開催「東京民謡倶楽部コンサート」チケット提示）
参加者数 49名 講師：春日井民謡部会
備考 助成／一般財団法人地域創造

事業名	ハンバート ハンバート 『ハンバート家の新学期』		
ミッション	2 鑑賞－みせる		
日時	4/13（土）15:00～17:00		
会場	東部市民センター		
出演	ハンバート ハンバート		
入場料等	6,000円、25歳以下3,000円（20人）		
入場者数	432名	入場率	95.8%
			自主財源比率 99.0%
収入	2,555,726円	助成金	—
			支出 2,580,725円
事業内容	幅広い世代に人気の実力派デュオ、ハンバート ハンバートのコンサート。フォークやカントリーなどをルーツにした上質なアコースティックの生演奏と、息の合ったトークが魅力の公演。		
成果	チケットは発売後数分で完売するなど、大きな反響があった。子ども向けの公演ではないが、アーティストの意向で未就学児入場可とし、U-25 チケットを設けたところ、子連れでの来場が目立った。		
備考			

事業名	ル・グロ・オルテイユ「図書館司書くん」		
ミッション	2 鑑賞－みせる		
日時	8/12（月・祝）14:00～15:00		
会場	東部市民センター		
出演	イポリット		
入場料等	おとな3,000円、学生の特券（4歳～高校生）500円（158名）		
入場者数	330名	入場率	70.4%
			自主財源比率 28.6%
収入	578,774円	助成金	—
			支出 2,026,542円
事業内容	カナダ・ケベック州のカンパニー「ル・グロ・オルテイユ」による、クラウン、フィジカルシアター、サーカス・アートを融合させたファミリー向け公演。想像力でどんなことも可能にできる読書の魅力を、様々なパフォーマンスで伝える。		
成果	来場者の約半数が子どもであった。主人公のユーモア溢れる表情や、あっと驚くパフォーマンスに、会場は終始笑いが絶えず、「時間があつという間だった」「笑いがこらえられなかった」といった感想が多く寄せられた。		
備考			

事業名	ピアノと砂のファンタジー 星の王子さま		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	10/12 (土) 15:00~17:10		
会場	東部市民センター		
出演	広瀬悦子 (ピアノ)、田中 研 (朗読)、伊藤花りん (サンドアート)		
入場料等	3,800 円、学生の特券 (小中高生) 500 円 (62 名)		
入場者数	320 名	入場率 85.6%	自主財源比率 113.0%
収入	2,200,000 円	助成金 —	支出 1,947,276 円
事業内容	フランスを拠点に活動する名古屋市出身のピアニスト広瀬悦子による、ピアノ演奏と朗読、サンドアートのコラボレーション企画。名作「星の王子さま」のストーリーに沿って、ライブで描かれる砂絵とピアノの演奏が幻想的な世界を創り上げる。		
成果	東部市民センターのスタインウェイピアノの魅力を発信するとともに、これまで文化財団が「のだめカンタービレの音楽会」などで培ってきた映像と生演奏のコラボレーション企画を制作するノウハウが活かされた舞台となった。サンマルシェの協力により、サンドアートに触れる体験ワークショップを開催し、新規顧客の獲得や地域を巻き込んだ事業の盛り上げにつなげることが出来た。		
備考	主催/春日井市東部市民センター 協賛/サンマルシェ		

事業名	アン・サリー&クラヤ ～北欧のクリスマス 2024～		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	12/14 (土) 14:00~16:15		
会場	東部市民センター		
出演	アン・サリー、クラヤ、林正樹		
入場料等	4,800 円、学生の特券 (小中高生) 500 円 (13 名)		
入場者数	268 名	入場率 56.9%	自主財源比率 60.1%
収入	1,215,892 円	助成金 —	支出 2,022,207 円
事業内容	シンガーソングライターで医師としての肩書も持つアン・サリーと、スウェーデンが誇るコーラスグループ・クラヤによるコンサート。ピアノ伴奏に林正樹を迎え、クリスマスに相応しい楽曲を演奏した。		
成果	春日井市ゆかりのアーティストと海外アーティストによる当財団オリジナル公演を実現。物販にも多くの来場者が詰めかけた。来場者アンケートでは、季節感のある公演内容と出演者の歌唱力に、「癒された」「また出演してほしい」等の意見が寄せられた。		
備考			

事業名	第 93 回かすがい芸術劇場 林家つる子、三遊亭わん丈二人会		
ミッション	2 鑑賞一みせる		

日 時	2/15 (土) 14:00~16:20		
会 場	視聴覚ホール		
出 演	林家つる子、三遊亭わん丈、柳家しろ八		
入場料等	3,800 円、学生の特券 (小中高生) 500 円 (1 名)		
入場者数	189 名	入 場 率 95.4%	自主財源比率 93.2%
収 入	704,115 円	助 成 金 —	支 出 755,296 円
事業内容	林家つる子は女性落語家として初の抜擢真打。古典落語を女性目線で再構成するオリジナル落語で注目を集めている。三遊亭わん丈は古典・自作含め 250 席ものネタを持ち、客層に合わせた話の魅せ方に定評がある。幅広い世代が上質な高座を鑑賞できる機会を提供する。		
成 果	新作・古典・創作それぞれの演目が並び、来場者の満足度も高かった。両者の話術の素晴らしさは勿論、春日井出身の前座を盛り立て、春日井の地名にちなんだ演目を話すなど、出演者の計らいも喜ばれた。		
備 考			

事業名	第 94 回かすがい芸術劇場 有門正太郎ひとり芝居		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日 時	2/24 (月・祝) 13:30~14:40		
会 場	視聴覚ホール		
出 演	有門正太郎		
入場料等	3,000 円、学生の特券 (小中高生) 500 円 (20 名)		
入場者数	99 名	入 場 率 66%	自主財源比率 19.8%
収 入	249,240 円	助 成 金 —	支 出 1,261,221 円
事業内容	当財団では、平成 28 年から自分史事業の可能性を探るための様々な切り口の一環として、演劇と融合させる「演劇×自分史 カスガイ創造プロジェクト」を、プロの俳優・演出家・劇作家である有門正太郎氏と共に作り上げてきた。本公演は、今まで講師としてかかわってきた有門氏が多様な役柄を一人で演じる「ひとり芝居」の魅力を存分に味わっていただく。		
成 果	有門氏は一人で 10 もの役柄を演じ分け、演劇の持つ表現力を存分に発揮した。入場率は目標に達しなかったものの、演劇自分史の参加者の来場があり、市民の演劇への関心の高まりが見受けられた。今後の演劇事業の可能性を示す貴重な機会となった。		
備 考			

事業名	かすがい日曜シネマ		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
会 場	視聴覚ホール、東部市民センター		
入場料等	前売 900 円、当日 1,000 円、学生の特券 (小中高生) 500 円 (34 名)		
入場者数	計 2,564 名	入場率 78.9%	自主財源比率 125.8%
収 入	2,295,745 円	助成金 —	支 出 1,824,261 円

事業内容	<p>舞台芸術や音楽等をテーマとした良質なミニ・シアター系の映画を上映。映画上映前には職員によるミニ・トークを開催。市内ボランティア団体による、音声ガイド付きの上映も行っている。</p> <p>(1) 第98回「不思議の国の数学者」 5/12(日) 東部市民センター265名 5/26(日) 視聴覚ホール①115名、②121名</p> <p>(2) 第99回「バカ塗りの娘」 7/14(日) 東部市民センター215名 7/28(日) 視聴覚ホール①118名、②95名</p> <p>(3) 第100回「人生は、美しい」 9/8(日) 視聴覚ホール①142名、②139名 9/15(日) 東部市民センター246名</p> <p>(4) 第101回「キャロル・オブ・ザ・ベル ～家族の絆を奏でる詩～」 12/8(日) 東部市民センター269名 1/12(日) 視聴覚ホール①109名、②122名</p> <p>(5) 第102回「劇場版 再会長江」 2/23(日・祝) 東部市民センター335名 3/9(日) 視聴覚ホール①135名、138名</p> <p>視聴覚ホールは、①10:15～、②13:30～(②は音声ガイド付き上映) 東部市民センターは、13:30～(音声ガイド付き上映)</p>
成 果	<p>上映作品の製作国やジャンルも様々であるが、入場率は比較的安定しており、作品選定が好評である。特に第102回上映ではドキュメンタリー映画にも関わらず、異例の3上映全て大盛況となった。また、各会場の先行発売も定着しており、開場時間の前から良席を求めて並ぶお客様も多い。</p>
備 考	<p>共催/春日井市東部市民センター 協力/ボイスケイン、ボイスさくら</p>

事業名	若手音楽家支援事業		
ミッション	6 人材育成ーはぐくむー		
入場料等	—		
参加者数	41名	入場率 —	自主財源比率 30.6%
収 入	10,000円	助成金 —	支 出 327,350円
事業内容	<p>公募によって選ばれた登録アーティストが、3年間の活動期間の中で「かすがいどこでもアート・ドア」「昼コン&夜コン・親子のためのはじめての音楽会」などで場数を踏み、音楽を仕事として行くうえで欠かせない幅広い世代や様々な状況への対応力、柔軟性などを養う目的とする。第4期2団体の登録アーティストと昨年度募集した第5期登録アーティストが以下の活動を行った。</p> <p>【第4期登録アーティスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トリオ・ビアンカ 安宅真平(サクソフォン)、稲垣七海(ユーフォニアム)、松本成美(ピアノ) ・ルピナス 神戸結花(フルート)、松原未弥(フルート)、佐々木唯道(ピアノ) <p>【第5期登録アーティスト】</p>		

水野楓子（ソプラノ）、土屋きなり（篠笛）、高橋喜仁（トロンボーン）、
かとうななほ（パーカッション）、倉橋祐佳里（ピアノ）

今年度の活動

- (1) 「かすがいどこでもアート・ドア」派遣30回
- (2) 「親子のためのはじめての音楽会」出演2回
- (3) 研修会 2回

①クラシックを主として学んできたアーティストにとって不得意分野であるポップス楽曲のアレンジについて学ぶ機会とした。普段から幅広いジャンルの音楽の演奏活動をしている第3期登録アーティストの犬飼裕哉氏を講師とした。

4/11（木）10：00～12：00「ポップス・アレンジ研修会」

参加者数：11名 講師：犬飼裕哉（ピアニスト／第3期登録アーティスト）

②本事業初の公開講座を実施し、他外部からも多くの受講生が集まった。音楽家から起業家として地域活性化やまちづくり問題などに幅広く取り組む講師を招き、若手音楽家のキャリア形成に関して経験談を交えつつ示唆に富んだレクチャーを行った。

2/21（金）18：30～20：30「地域で活動する音楽家のためのキャリアデザイン講座」

参加者数：30名

講師：吉田佐和子（一般社団法人福知山芸術文化振興財団 代表理事）

- (4) 次期登録アーティストの公募・採用

令和7年4月より3年間活動する第6期登録アーティストを公募した。

一次選考：書類・動画審査、二次選考：実技・面接審査（11/26、11/29に実施）

募集楽器：弦楽器、ピアノ 応募3名、採用2名

成 果

第4期登録アーティストの活動期間は残り約半年となった。この1年で学校での授業型アート・ドアをはじめ新たな形態の本番にもチャレンジし、演奏、MC、プログラム構成力の面で経験を積むことが出来た。第5期登録アーティストも11月の「昼コン」を全員で乗り切ることで、これまでにない楽器との組み合わせやアンサンブルへの順応性を伸ばした。

備 考

寄付金額／90,095 円（特定寄付金に積立）

事業名	昼コン&夜コン、親子のためのはじめての音楽会		
ミッション	3 普及啓発一ひろがる		
会場	交流アトリウム		
入場料等	無料 ※会場に寄附金箱を設置		
入場者数	4,450 名	入場率	—
自主財源比率			48.0%
収入	—	寄附金	603,170 円
支出			1,257,073 円
事業内容	<p>《昼コン&夜コン》</p> <p>2004年に始まった本公演は、今年度21年目に入った。「1時間」「無料」「トーク付き」の気軽に親しむことが出来るコンサート。クラシックを中心としながら、時には異なるジャンルや珍しい楽器を紹介するなど多彩な内容を用意した。来場者満足度を高めて今後のコンサート継続のための「寄附」につなげるべく、今年度はより一層演奏者の選定、内容の充実</p>		

に力を入れ、名フィル団員などの実力派を起用した。

(1) 4/13 (土) 14:00~15:00

第288回「4月の五重奏」 入場者数：352名 寄附金額：52,653円

出演：寺田史人（ヴァイオリン）、依田郁子（ヴィオラ）、本橋裕（チェロ）、
榊原利修（コントラバス）、榊原祐子（ピアノ）

(2) 4/26 (金) 19:00~20:00

第289回「フランスのロマンティック名曲集」 入場者数：226名 寄附金額：80,135円

出演：小川響子（ヴァイオリン）、安成紅音（ピアノ）

(3) 5/11 (土) 14:00~15:00

第290回「春を奏でてハル・カルテット」 入場者数：388名 寄附金額：79,350円

出演：小森絹子（ヴァイオリン）、臼田妙（ヴァイオリン）、小林伊津子（ヴィオラ）、
清水直（チェロ）

(4) 5/31 (金) 19:00~20:00

第291回「チェンバロを聴いてみませんか？」 入場者数：241名 寄附金額：45,515円

出演：鎌田茉帆（チェンバロ）、唐田友裕（楽器製作家）※お話

(5) 6/22 (土) 14:00~15:00

第292回「打てば響くクラシック名曲選」 入場者数：384名 寄附金額：59,900円

出演：西村雅（マリンバ）、松野弥咲（パーカッション）、植田結衣（ピアノ）

(6) 7/5 (金) 19:00~20:00

第293回「壮大で繊細なピアノの世界」 入場者数：255名 寄附金額：51,537円

出演：山中惇史（ピアノ）、藤間勘之介（日本舞踊家）※賛助

(7) 9/6 (金) 19:00~20:00

第294回「昭和レトロ×平成レトロ」 入場者数：180名 寄附金額：41,258円

出演：斎藤世奈（サクソフォン）、山崎雅也（ピアノ）、吉田大将（ベース）

(8) 9/28 (土) 14:00~15:00

第295回「テノール×テノール」 入場者数：204名 寄附金額：34,578円

出演：安田有沙（ピアノ）、杉浦孝治（テノール）、大久保亮（テノール）

(9) 11/9 (土) 14:00~15:00

第296回「五人五色の音楽会」 入場者数：309名 寄附金額：47,162円

出演：土屋きなり（篠笛）、水野楓子（ソプラノ）、高橋喜仁（トロンボーン）、
かとうななほ（パーカッション）、倉橋祐佳里（ピアノ）

※この日の寄付金は「若手音楽家支援事業寄附金」として受領。

(10) 11/30 (土) 14:00~15:00

第297回「ソプラノ三姉妹～私たちのお気にいり～」

入場者数：230名 寄附金額：32,457円

出演：千田真梨子（ソプラノ）、倉本亜紗（ソプラノ）、原綾美（ソプラノ）、
秀平雄二（ピアノ）

(11) 12/20 (金) 19:00~20:00

第298回「ブラス de クリスマス」 入場者数：240名 寄附金額：44,379円

出演：岡田望（トランペット）、高橋沙紀（トランペット）、赤堀めぐみ（ホルン）、川口茜（トロンボーン）、谷口史洋（チューバ）

《親子のためのはじめての音楽会》

同日2回公演、1回あたり30分の内容。子供向けのコンサート企画に定評があるアーティストを起用した。また若手音楽家支援事業登録アーティストも1名出演した。

(1) 5/10 (金) ①10:00~10:30 ②11:00~11:30

第13回「楽器がたくさん楽しさもたくさん！遊ぼう音のおもちゃ箱！」

入場者数：399名 寄附金額：11,951円

出演：フライングドクター（石田千尋（バス鍵盤ハーモニカ他）、岩田ゆいこ（アルト鍵盤ハーモニカ他）、宇野伊世（ソプラノ鍵盤ハーモニカ他））

(2) 9/13 (金) ①10:00~10:30 ②11:00~11:30

第14回「子どもはワクワク！大人もリフレッシュ！」

入場者数：498名 寄附金額：6,354円

出演：波馬朝加（ヴァイオリン）、水野楓子（ソプラノ）、佐々木琴美（ソプラノ）、竹之内奏（ピアノ）

(3) 3/14 (金) ①10:00~10:30 ②11:00~11:30

第15回「大人も子どももノリノリ！レッツダンス！！」

入場者数：544名 寄附金額：15,941円

出演：若手音楽家支援事業第5期登録

土屋きなり（篠笛）、高橋喜仁（トロンボーン）、倉橋祐佳里（ピアノ）、かとうななほ（パーカッション）

成 果

来場者数は前年度から微増であったが、寄附金額は約5割増の伸びを記録した。寄付の呼びかけの強化、内容の充実、春日井との縁を意識したアーティスト起用とファンづくりの仕掛けが奏功したと考えられる。アンケートからは、来場者の満足度の高さや、本事業に対しての今後の期待の大きさがうかがわれた。

備 考

事業名	スペシャル・ワンコイン・コンサート		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
会場	市民会館		
入場料等	500円、学生の特券（小中高生）無料（116名）		
入場者数	1,146名	入場率	平均 38.2%
		自主財源比率	59.5%
収入	511,750円	助成金	—
		支出	860,789円
事業内容	これまでに井草聖二氏の出演で2度開催したスペシャル・ワンコイン・コンサートを、今年度より年3回のシリーズ公演とした。恒例の井草氏のソロ・ステージに加え、春日井市出身の若手演奏家2名らによるクラシック、そして純邦楽からポップスまでジャンルレスに活躍する邦楽奏者たちによるライブを開催した。		

	<p>(1) 7/19 (金) 19:00～20:15 「BRAAAHMS!!」 入場者数：348名 寄附金額：25,210円 出演：亀居優斗 (クラリネット)、佐藤桂菜 (チェロ)、河尻広之 (ピアノ)</p> <p>(2) 10/25 (金) 19:00～20:15 「和楽器の共演 月と風」 入場者数：414名 寄附金額：12,844円 出演：神永大輔 (尺八)、いぶくろ聖志 (箏) 賛助出演：麗明智翔 (箏)、久 (箏)、吉越瑛山 (尺八)</p> <p>(3) 11/22 (金) 19:00～20:15 「井草聖二 ギターで奏でるメロディアスな風景」 入場者数：384名 寄附金額：9,108円 出演：井草聖二 (ギター)</p>
成 果	<p>内容に対する満足度は各回とも総じて高く、アンケートでは「料金が安すぎる」という意見も散見された。“事前予約なし当日現金払い”という設定に対しては「気軽に行ける」という好意的な意見と「事前予約制の方が安心」といった意見に分かれた。実際、どの公演でもファンが開場の1時間以上前から列を作るなど、対策を講じる必要を感じた。次年度以降、このような市民会館で開催する音楽公演シリーズについて、様々なあり方を考えるための有意なデータを収集することが出来た。</p>
備 考	<p>寄付金額 47,162円 (昼コン&夜コン寄附金に充当)</p>

事業名	演劇×自分史プロジェクト第6弾		
ミッション	1 創造一つくる		
日 時	1/26 (日) 11:00～12:30、15:00～16:30		
会 場	視聴覚ホール		
講 師	有門正太郎 (俳優・劇作家・演出家) アシスタント すぎうらまこ、藤島えり子		
入場料等	舞台公演 一般2,000円 (143名)、25歳以下1,500円 (14名)、学生の特券 (小中高生) 500円 (41名)		
参加者数	計1,237名	入 場 率	100%
		自主財源比率	55.4%
収入	452,400円	助成金	2,569,000円
		支 出	5,457,438円
事業内容	<p>演劇創作を通じて、市民とともに「自分史」の魅力を再発見するプロジェクト。今年からは、若者と未来を見据えるプロジェクトとしてスタート。最終的には、参加者の自分史を紡ぎ、演劇公演を創り上げる。</p> <p>(1) スピンオフ企画 8 hours 公演 場所：会議室、文化活動室</p> <p>① アシスタント向けファシリテーターWS 6/14 (金) 16:00～18:00 参加者数8名</p> <p>② 8 hours 事前説明会 6/15 (土) 13:30～16:30 参加料：500円 参加者数15名</p> <p>③ 8 hours 本番日 6/16 (日) 9:00～19:30 入場料：500円 入場者数：18名</p> <p>(2) 【演劇×自分史】相談会 場所：文化活動室 8/25 (日) 16:30～18:00 参加者数15名</p>		

	<p>(3) 【演劇×自分史】ワークショップ</p> <p>場所：視聴覚ホール、会議室、文化活動室</p> <p>平日 19:00～21:00 土日祝 13:00～17:00</p> <p>① おためしワークショップ 9/28 (土)～29日(日) 参加者数：44名</p> <p>② 創作 10/30(水)～31(木)、11/1(金)・8(金)～10(日)、12/3(火)～5(木)、 8(日)、17(火)～20(金)、1/10(金)～12(日)、16(木)～19(日)、 21(火)～25(土)</p> <p>参加者数：キャスト35名、裏方スタッフ8名</p> <p>参加料(キャスト)：一般5,000円、25歳以下2,000円、中高生500円</p> <p>③ リスペクトコミュニケーション研修 11/10(日)13:00～14:00 参加者数43名</p> <p>④ 振り返り会 3/19(水) 参加者数36名</p>
成 果	<p>(1) 演劇×自分史プロジェクトの、短期間での創作体験ワークショップの一つとして8時間で創作～上演まで行う「8hours」を行い、新規参加者を発掘した。地域のお店の物語を即興で作品まで昇華し、自分史を聴くこと、演じ創作することを町ぐるみで行い、好評を得た。</p> <p>(2) これまで参加した市民への相談会を開催した。本事業を裏方で支えてほしいこと、参加した人たちが連携して創作を自身で行ってほしいことなど、本事業の趣旨を改めて伝えた。</p> <p>(3) キャスト募集枠20名に対し47名の応募があり、うち20名が20代以下だった。裏方スタッフには9名応募があった。本事業の「弱者の居場所づくり」という目的から、オーディションは行わず全員受け入れることとした。本公演では2つのストーリーを軸に、若者の未来、高齢者のチームワークを舞台で見せることができた。また、文化庁のハラスメント防止対策支援事業を利用し、参加者、アーティスト、職員を含め、研修プログラムを行った。さらに職員の外部相談窓口を設置した。</p>
備 考	<p>助成／令和6年度文化芸術振興費補助金(芸術家等の活動基盤強化(ハラスメント防止対策支援事業))、一般財団法人地域創造</p>

事業名	生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会 全国ツアー
日時	①5/3(金・祝)14:00～16:20 養父市立やぶ市民交流広場ホール(ピアノ版)
会場	②8/10(土)・11(日)15:00～17:30 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール(オーケストラ版)
	③12/7(土)15:00～17:00 東りいたみホール(伊丹市立文化会館)(室内楽版)

出演	①高橋多佳子（ピアノ） ②茂木大輔（指揮） 渡辺紗蘭（ヴァイオリン） 吉村結実（オーボエ） 石井琢磨（ピアノ） 兵庫芸術文化センター管弦楽団 ③高橋多佳子（ピアノ） 磯絵里子、中島麻（ヴァイオリン） ヴィオラ（吉田有紀子） チェロ（笹沼樹） 加藤雄太（コントラバス）				
入場料等	—				
入場者数	3,958人	入場率	—	自主財源比率	2,037.8%
収入	313,000円	助成金	—	支出	15,360円
事業内容	平成18年から続く、春日井発「のだめ音楽会」の全国ツアー。舞台監督、映像作成・オペレータを当財団職員で行っている。これまでにオーケストラ版119公演、ピアノ版22公演、室内楽版3公演、延べ178,272名動員（春日井公演含む）。				
成果	兵庫県養父市での公演は初開催。この公演にぴったりの理想的な新しいホールで、来場者はピアノの音色を存分に楽しんだ。西宮公演は、2日目のプログラムは早々に完売。ソリストの人気に加え、のだめの世界感にどっぷり浸れる選曲が好まれる傾向にあることがわかった。伊丹公演は、春日井公演で制作した室内楽版をアップデートしたもの。幅広い年代の来場者が室内楽の響きを堪能した、好評な公演となった。				
備考	オーケストラ版：企画／茂木大輔、公益財団法人かすがい市民文化財団 ピアノ版・室内楽版：企画／高橋多佳子、公益財団法人かすがい市民文化財団				

事業名	財団サポーター2024				
ミッション	4 地域コミュニティ形成—つながる				
参加者数	計42名	入場率	—	自主財源比率	17.3%
収入	37,300円	助成金	—	支出	215,016円
事業内容	来場者をもてなすボランティアとして、当財団の自主文化事業に参加。また、当財団の良き理解者・支援者を増やしていく側面もある。				
実績	活動公演数32回／展覧会数0回／研修3回／登録者数42名				
成果	お客様から「いつも温かい雰囲気を出迎えてくれる」と好評を得ている。今年度は新規登録者が10名となった。登録者数は40名を超え、サポーター活動を通じて新たなコミュニティの形成に大きな役割を担っていると感じる。				
備考	今年度新規登録者：10名				

(4) アウトリーチ事業

事業名	かすがいどこでもアート・ドア（美術系）				
ミッション	3 普及啓発—ひろがる 4 地域コミュニティ形成—つながる				
入場料等	なし				
参加者数	181名	入場率	—	自主財源比率	—
収入	—	助成金	—	支出	60,000円
事業内容	学校の図工授業において講師を派遣し、児童たちの作品制作のサポートを行った。				

<p>(1) 鷹来小学校「空きようきのへんしん」</p> <p>①9/12 (木) 8:45～10:20</p> <p>②9/19 (木) 8:45～10:20</p> <p>参加者：3年1組・2組 計47名</p> <p>講師：林幸秀 (造形作家/エデュケーションアドバイザー)</p> <p>山田雅哉 (画家) ※9/12のみ、安藤シオン (イラストレーター)</p> <p>(2) 神屋小学校「光のトンネル」</p> <p>10/10 (木) 8:55～12:25</p> <p>参加者：3年1組・2組 計55名</p> <p>講師：林幸秀 (造形作家/エデュケーションアドバイザー)</p> <p>安藤シオン (イラストレーター)</p> <p>(3) 教育支援センターあすなろ「マスキングテープ貼り絵」</p> <p>12/5 (木) 10:00～11:30</p> <p>参加者：11名</p> <p>講師：林幸秀 (造形作家/エデュケーションアドバイザー)</p> <p>(4) 篠原小学校「冬をたのしもう」</p> <p>1/28 (火) 9:40～11:30</p> <p>参加者：1年1組・2組 計55名</p> <p>講師：林幸秀 (造形作家/エデュケーションアドバイザー)、</p> <p>(5) 神領小学校「造形粘土遊び」</p> <p>2/20 (木) 9:30～11:55</p> <p>参加者：特別支援学級 13名</p> <p>講師：林幸秀 (造形作家/エデュケーションアドバイザー)、</p> <p>芝佐和子 (日本画家・社会福祉士)</p>
<p>学校側の希望に沿って指導案作成の段階から手厚く授業をサポートした。教員の悩みを解消しながら、児童にプロの指導を提供することができた。講師の指導で児童の創作意欲や表現力が向上し、十分な成果をあげられた。</p>
<p>備 考</p>

事業名	かすがいどこでもアート・ドア (実演芸術系)		
ミッション	3 普及啓発一ひろがる		
会場	春日井市内各所 (幼稚園・保育園・小学校・福祉施設・公民館等)		
入場料等	1,500円、学生の特券 (小中高生) 500円		
参加者数	計6,823名	入場率	— 自主財源比率 7.5%
収入	177,900円 (8/30分)	助成金	— 支出 2,378,447円
事業内容	<p>日頃、舞台芸術に接する機会が少ない子どもたちや、劇場に足を運ぶことが難しい高齢者を対象として、文化・芸術に触れる体験を届けるためのアウトリーチ事業。音楽や伝統芸能のアーティストを市内各所に派遣し、「文化芸術の良き理解者」を育てるとともに、文化芸術を通じて教育の充実や、地域のつながりの活性化を図る。また関連企画として普段地域</p>		

や学校に届けている演奏を、派遣した先の方々だけではなく、幅広い方々にコンサート形式で楽しんでいただく機会として、「インリーチ・コンサート おいでよアート・ドア」も実施する。

《どこでもアート・ドア》

- (1) 伝統芸能／藤間勘揚・勘之介（日本舞踊）
 - 5/12（日）二子町若旦那会（日輪寺本堂）100名
 - 7/9（火）下津保育園 120名
 - 9/14（土）月見町第一春月会（月見町公会堂）25名
 - 10/26（土）岩成台西地区社会福祉協議会（岩成台西小学校体育館）130名
- (2) 伝統芸能／なるみ家笑天（社会人落語家）
 - 5/16（木）ぐるっぽさぼてん（ぐるっぽふじとう会議室）30名
 - 11/12（火）上鳥曙会（鳥居松町割公民館）26名
 - 3/10（月）柏原喜楽会（柏原公民館）25名
- (3) 音楽／ルピナス ※若手音楽家支援第4期登録
 - 5/23（木）ルフレ樹の里・春日井樹の里（ホール）30名
 - 9/22（日）東野松寿会（落合公園管理棟）68名
 - 10/16（水）高座保育園 160名
 - 12/21（土）下大留子ども会（大留下公民館）103名
 - 1/21（火）中央台小学校 162名
 - 2/28（金）石尾台地区社協 おしゃべりサロン（緑ヶ丘老人憩いの家）40名
- (4) 音楽／トリオ・ビアンカ ※若手音楽家支援第4期登録
 - 7/8（月）生活介護 Masa 夢（施設内広間）40名
 - 7/17（水）大手保育園 138名
 - 9/8（日）八幡地区社会福祉協議会（総合福祉センター大ホール）69名
 - 9/21（土）八事八明会（八事公民館）30名
 - 12/4（水）出川小学校 132名
 - 12/5（木）高蔵寺幼稚園 301名
 - 1/22（水）松原保育園 200名
- (5) 音楽／ココロン ※若手音楽家支援第5期登録
 - 6/24（月）月見幼稚園 75名
 - 7/11（木）神屋神和会（福祉の里）57名
 - 7/20（土）マ・メール上条保育園 74名
 - 10/3（木）陽和福祉会 どんぐりの森（ホール）40名
 - 11/7（木）春日井保育園 145名
- (6) 音楽／しらすトリオ ※若手音楽家支援第5期登録
 - 6/19（水）坂下南保育園 98名
 - 1/15（水）藤山台保育園 156名
- (7) 音楽／音散舞 ※若手音楽家支援第5期登録
 - 6/20（木）小野保育園 220名

- 7/25 (木) 神領保育園 240 名 ※Tb 高橋喜仁 不在
 2/4 (火) 玉川保育園 115 名
- (8) 音楽／土屋きなり (篠笛)、犬飼裕哉 (ピアノ)
 6/4 (火) 松原小学校 107 名
 6/11 (火) 鷹来小学校 88 名
- (9) 音楽／Cool MensLa (弦楽三重奏)
 6/18 (火) 大手小学校 420 名
- (10) 音楽／瀬木理央 (ヴァイオリン)、倉橋祐佳里 (ピアノ)
 9/30 (月) 丸田小学校 72 名
 10/2 (水) 岩成台西小学校 102 名
- (11) 音楽／徳田真侑 (ヴァイオリン)、倉橋祐佳里 (ピアノ)
 11/18 (月) 神屋小学校 70 名
- (12) 音楽／ルピナス、鈴木豊大 (パーカッション)
 11/27 (水) 神領小学校 86 名
 2/20 (木) 春日台特別支援学校 80 名
- (13) 音楽／佐古健一 (チェロ)、原田綾子 (ピアノ)
 1/16 (木) 西山小学校 76 名
 1/17 (金) 春日井小学校 120 名
- (14) 音楽／Jumble Quartet (國領さおり、山部里恵、菅原拓馬、鈴木豊大)
 2/21 (金) 春日井高等特別支援学校 140 名

《インリーチコンサート おいでよアート・ドア》

会場：文化フォーラム春日井・ギャラリー

8/30 (金) 「かさなりあう弦 ヴィヴァルディ&モーツァルト」

出演：Cool MensLa Trio(平光真弥、新谷歌、酒井敬彰)、二川理嘉、幸田有哉
 126 名 (うち学生の特券 (小中高生) 14 名)

《紹介派遣》

- (1) 6/3 (月) 春日井市立山王小学校 芸術鑑賞会 431 名
 FUN (波多野江莉、左合栞、河原翌真)
- (2) 9/16 (月) 如意申町町内会 敬老会 (如稻学習等供用施設) 55 名
 藤間勘揚・藤間勘之介 ※財団職員立ち合いなし
- (3) 10/6 (日) 小野区町内会 (小野老人憩いの家) 60 名
 トリオ・ビアンカ ※財団職員立ち合いなし
- (4) 10/21 (月) 中部大学春日丘中学校 332 名
 Jumble Quartet (國領さおり、山部里恵、植村理穂、鈴木豊大)、川地立真
- (5) 10/24 (木) 藤山台中学校 220 名
 神永大輔、いぶくろ聖志
- (6) 10/24 (木) あすなろ教室 (中央公民館ホール) 20 名

	<p>神永大輔、いぶくろ聖志</p> <p>(7) 10/26 (土) 岩成台西地区社会福祉協議会 (岩成台西小学校体育館) 130 名 ココロン ※同日、どこでもアート・ドアとして日本舞踊も派遣</p> <p>(8) 11/21 (木) 上条小学校 169 名 井草聖二</p> <p>(9) 11/22 (金) 高森台小学校 260 名 井草聖二</p> <p>(10) 1/6 (月) 春日井市新年名刺交換会 (春日井市民会館) 290 名 ルピナス</p> <p>(11) 1/25 (土) 南部ふれあいセンター (ホール) 100 名 FUN</p> <p>(12) 3/9 (日) 知多公民館 120 名 かとうななほ、井口有彩、亀山佳音、吉田七海</p>
成 果	<p>実演芸術家の派遣は年間 53 か所を実施し、参加者は合計で 6,697 名となった (うち、紹介派遣は 12 か所、2,187 名)。幼稚園・保育園、地域団体においては、若手音楽家支援事業登録アーティストの第 4 期 6 名、第 5 期 5 名が中心となり、音楽を届けるとともに、演奏を聴く子どもたちや地域の市民の反応から逆に得られる学びも多かった。また、学校での授業型アート・ドアのバリエーションが増し、より学校側の様々なニーズに対応しやすくなった。「おいでよ アート・ドア」では、ベテラン演奏家 3 名を核とした弦楽アンサンブルを取り上げ、響きの良いギャラリーで本格的な演奏を解説付きで聴けることに、来場者からの高い満足度が示された。</p>
備 考	<p>市民メセナ基金収入額 183,475 円</p>

(5) 施設サービス系事業

事業名	<p>スタインウェイピアノ開放します！</p>		
ミッション	<p>3 普及啓発ーひろがる</p>		
日 時	<p>5/1 (水) 12:30~17:15、2 (木)、3 (金・祝) 8:45~17:15 8/14 (水) 12:30~17:15、15 (木)、16 (金) 8:45~17:15 1/24 (金) 12:20~16:50、25 (土)、26 (日) 8:50~16:50 ・ 1 枠 1 団体 60 分</p>		
会 場	<p>市民会館</p>		
参加者	<p>公募による抽選で選ばれた人</p>		
入場料等	<p>利用料 1,000 円、録音サービス料 500 円</p>		
参加者数	計 52 組 226 名	入 場 率	— 自主財源率 84.0%
収 入	61,000 円	助 成 金	— 支 出 72,580 円
事業内容	<p>市民会館のホールを貸し切り、スタインウェイピアノを 1 時間自由に弾ける企画。毎年好評をいただいております、今年度は 5 月、8 月、1 月に開催。</p>		
成 果	<p>1 回目の 5 月には 62 組の応募、2 回目の 8 月には 59 組の応募、3 回目の 1 月には 116 組の応募があり、計 52 組の家族やグループが参加した。発表会のための練習や友人・家族を</p>		

招いたプライベートコンサートの開催など、思い思いの1時間を過ごした。9割の参加者が市内在住・初当選であり、「春日井に引っ越して半年でこんな幸運に恵まれるとは」「大学を卒業して就職する前の、いい記念になった」といった声が寄せられた。
備 考

事業名	舞台制作セミナー		
ミッション	5 活動支援—ささえる、6 人材育成—はぐくむ		
受講料等	無料		
受講者数	31名	入 場 率	—
		自主財源比率	—
収 入	—	助 成 金	—
		支 出	26,124円
事業内容	<p>市内高校の吹奏楽部と演劇部を対象に、照明・音響・舞台技術等の基礎知識を伝えるセミナー。演劇部版では3月の合同発表会に向け活動している市内演劇部全4校に案内した。参加申込のあった春日井西高校演劇部、春日井泉高校演劇部の部員を対象に、名古屋を拠点に活動している2名を講師に招き、創造性を育むワークショップを行った。</p> <p>吹奏楽部版では春の定期演奏会開催に向けて、音響照明のプラン方法やスケジュールの組み方、職員による照明のデモンストレーション等を座学にてレクチャーした。その後、実際に機材を触りながら、職員のレクチャーを受けて操作の体験をした。</p> <p>(1) 演劇部版 講師：茉珠（舞台美術家）、ジン（俳優） 1/28(火) 17:00～19:00 会場：会議室A・B 受講者数：14名（春日井泉高校、春日井西高校）</p> <p>(2) 吹奏楽部版 2/1(土) 13:00～15:00 会場：市民会館 受講者数：17名（春日井西高校、高蔵寺高校、春日井高校、春日井南高校）</p>		
成 果	<p>演劇部版では、高校演劇出身であり、舞台美術家として第一線で活躍している茉珠氏と、小道具制作の活動をしているジン氏を講師に、他者とイメージを共有しながら一つの成果物を作っていくワークショップを開催した。吹奏楽部版では舞台機器の効果や操作説明を市民会館スタッフが行うことで親しみを感じてもらうことができ、終了後には定期演奏会のプランについて積極的に質問・相談する姿が見られた。</p>		
備 考			

事業名	【共催】第32回春日井市高等学校吹奏楽フェスティバル		
ミッション	5 活動支援—ささえる		
日 時	12/22(日) 14:00～16:30		
会 場	市民会館		
出 演	春日井高校、春日井西高校、春日井南高校、春日井東高校、春日井泉高校、高蔵寺高校、中部大学春日丘高校 各吹奏楽部		
入場料等	無料		

入場者数	864名	入場率	92.1%	自主財源比率	—
収入	—	助成金	—	支出	—
事業内容	春日井市内7高校の吹奏楽部が一堂に会し、学校の垣根を越えて熱演を繰り広げる、全国的にも珍しい演奏会。各校から集まった実行委員の生徒が、職員レクチャーのもと、公演の内容からチラシ作成、当日の運営まで主体的に行う。本番ではステージマーチング、シンフォニックステージ、ポップスステージの3部構成で開催し、アンコールでは全員合奏を行う。				
成果	各高校の生徒から選出された「吹奏楽フェスティバル実行委員会」が主体となり、職員のレクチャーのもと学校紹介やアンコールの企画構成、チラシやアンケートの作成を行った。チラシ作成では、生徒が考えたキャッチコピーと実行委員の生徒全員が揃った写真をアイキャッチにし、本公演の特徴をとらえたものに仕上がった。また、各校のInstagramアカウントで、公演当日までカウントダウン投稿を行った結果、幅広い年齢層の集客を得ることができた。当日の運営でも実行委員が企画した2分間CMやアンコールの全員合奏でのスムーズな運営を行い、出演者の熱の入った演奏に客席は大いに盛り上がった。				
備考	主催/春日井市高等学校吹奏楽協議会（幹事校：春日井高校）				

事業名	アトリウム音楽祭				
ミッション	5 活動支援一ささえる				
会場	交流アトリウム				
入場料等	無料、参加料は運営協力費として1団体5,000円				
入場者数	計1,921名	入場率	—	自主財源比率	52.2%
収入	160,000円	助成金	—	支出	306,750円
事業内容	<p>市民参加型の音楽発表会。市内外で活動するアマチュア音楽団体が、日頃の成果を発表。</p> <p>(1) [秋] 9/14 (土)、15 (日) 10:00~17:45 出演団体16組 (232名)、入場者数884名 琴古流尺八長月会、colorful tutti fleur、ハーラウ・ワア・カウルア・ハアリ・マオヒ、公益財団法人 関西詩吟文化協会 公認 鷺伸吟詠会 東尾張支部、高蔵寺混声合唱団、M à la carte、椰子の実ウクレレ倶楽部、ムジカアーツ、ウクレレユニット・レインボーガーデン、オカリナ スプリング ウェル、レアレア マカマカ、フルール、alouette、ウクレレピリナ with イミ・オラ、篠笛アンサンブル「藍音」、春日井市能楽連盟</p> <p>(2) [春] 3/15 (土)・16 (日) 10:00~17:45 出演団体16組 (330名)、入場者数1,037名 △Ocarina、ライリッシュ竖琴クラブ、シロクマカルテット、Kahawai nani Hula Halau、ハーラウ・カピィ ア マカリィ、南城合唱クラブ&西部中学校合唱部、プレジール・アコ、中部大学混声合唱団、琴修会春日井支部 玉川教室、あんじゅ&シャルルールママコーラス、Mana Tai Ura、Hui Ōkamalei Kāpiki、津軽三味線 響、J Trio、hoa nanea、hoalimi Hula</p>				

成 果	前年度に比べ、チラシを 1,000 部増刷、1 団体当たり平均配荷枚数 100 部から 150 部へ変更し、団体が宣伝活動をしやすい環境を整えた。
備 考	

事業名	【共催】かすがい人形劇フェスティバル 2024		
ミッション	5 活動支援—ささえる		
日 時	12/15（日）かすがい人形劇フェスティバル 2024 ①10：00～11：50（136 名入場）②14：00～15：40（171 名入場） ③12：00～13：50（作って遊ぼうコーナー、計 150 名参加）		
会 場	視聴覚ホール、交流アトリウム（作って遊ぼうコーナー）		
出 演	①人形劇団よろずや〇、人形劇団とんとんとん、マーガレット一家りさちゃん、 人形劇団パン ②人形劇団じゃんけんぼん、マーガレット一家たっちゃん、おしゃべり劇場 ぼっけ、人形劇団むすび座 ③くれよんの会		
入場料等	①②前売おとな 1,200 円、こども 700 円、当日おとな 1,400 円、こども 900 円 ③無料		
入場者数	計 457 名	入 場 率	—
収 入	—	助 成 金	—
自主財源比率	—	支 出	—
事業内容	市内外のアマチュア及びプロ人形劇団による公演。午前午後の合間には交流アトリウムで自由に参加できる折り紙の体験会を実施。その他、公演までの 1 か月間、出演団体の所有している人形を交流アトリウムで展示し、大型ビジョンにて宣伝動画の放映を行った。		
成 果	前年よりも多くのお客様に来場いただき、今年より実施した宣伝動画の効果を感じることができた。人の手が作る、温かみのある文化をより多くの子どもたちに楽しんでもらえた。		
備 考	主催/愛知県人形劇協会、かすがい人形劇フェスティバル実行委員会		

事業名	【共催】とっておきのクリスマスコンサート		
ミッション	5 活動支援—ささえる		
日 時	12/22（日）17：30～19：00		
会 場	交流アトリウム		
参加者	春日井児童合唱団		
入場料等	無料		
入場者数	317 名	入 場 率	—
収 入	—	助 成 金	—
自主財源率	—	支 出	43,793 円
事業内容	春日井児童合唱団による毎年恒例のクリスマスコンサート。ジュニア、シニアに加え、成人した合唱団 OB・OG も参加し、クリスマスソングを歌う。		
成 果	当初 200 席だった座席数を最大 280 席まで増設した。また、撮影エリアを設け、高い三脚が観客の視界を妨げないようにした。さらに、新たにクリスマス飾りを追加購入し、例年とは異なる雰囲気 of クリスマス公演を演出した。これらの取り組みにより、席数の増加や観やすさの改善を図るとともに、例年とは違った雰囲気を提供することができた。		
備 考	主催/春日井児童合唱団		

事業名	スカイフォーラム事業		
ミッション	4 地域コミュニティ形成—つながる		
参加料等	無料		
参加者数	計 113 名	入 場 率	—
収 入	—	助 成 金	—
		自 主 財 源 比 率	—
		支 出	74,599 円
事業内容	<p>施設の PR と、文芸館・スカイフォーラムを拠点とした地域コミュニティ形成を目的として、さまざまな体験活動を通じた世代間交流を生み出す事業。初年度は、これまで職員だけで行っていた花の植替え作業を手伝うボランティアサポーターを募って実施した。</p> <p>(1) 秋の植替え体験 10/24(木) 10:00-12:00 参加者数：13 名</p> <p>(2) 水やりボランティア 12/4 (水) ~3/30 (日) 参加者数：延べ 94 名</p> <p>(3) 春の植替え体験 3/6 (木) 10:00~12:00 参加者数：6 名</p> <p>※雨天のため 3/4 (火) から急遽順延。申込自体は 13 名。</p>		
成 果	<p>花の植替え作業をきっかけに、スカイフォーラムに初めて足を運ぶという参加者がほとんどであった。市内のみならず、名古屋市からの参加者も、自分で植えた花が気になって施設に立ち寄るようになったという。また、秋の植替え体験参加者のおよそ半数が、春にも継続して参加を希望しており、市民との新しいコミュニティを形成できた。</p>		
備 考			

(6) 広報系事業

事業名	広報宣伝・情報発信事業		
収 入	—	支 出	6,352,294 円
		自 主 財 源 比 率	—
事業内容	<p>自主事業を中心とした文化芸術情報及び施設に関する情報を誌面、HP、SNS や映像等の自社媒体で広く発信する。また、より多くの市民に当財団の活動を知っていただくために、マスコミをはじめとした外部機関と連携し、PR をおこなう。</p>		
実 績	<p>(1) 記事掲載 中日新聞 (本誌 50 回、関連誌 10 回)、ケーブル TV 4 回、雑誌タウン誌 36 回、Web14 回 テレビ 1 回</p> <p>(2) 情報誌 FORUM PRESS 発行：114 号 (5 月発行) 6,000 部、115 号 (7 月発行) 102,000 部、116 号 (12 月発行) 102,000 部、117 号 (3 月発行) 102,000 部 配布：県内 192 施設、県外 106 施設に配布、115 号、116 号、117 号は広報春日井に挟み込み市内 96,000 戸に配布 レポーター活動：登録人数 13 名、活動公演数 21 回、研修等 1 回、 参加人数延べ 35 名、HP 掲載記事 27 本</p> <p>(3) SNS 運営 X フォロワー 1,740 名、LINE お友だち 6,858 名、インスタグラムフォロワー 1,528 名</p> <p>(4) 映像発信 24 件(自社製作)</p>		

成 果	<p>(1) 広報春日井へ挟み込み市内に全戸配布した成果により、広く市民に文化財団の情報を提供することができた。また、公演の出演者にインタビューすることで、チラシだけでは伝わりきらない公演のより深い魅力を読者に伝えることができた。</p> <p>(2) 自分たちで情報を更新し HP を運営していくシステム作りの成果により、最低限の費用で運用することができた。</p> <p>(3) SNSを通じた情報発信では、興味のあるターゲットにダイレクトに向けてダイレクトに情報を提供・拡散することができた。</p> <p>(4) 多様な媒体で事業を紹介していただくことで、普段、文化財団と関わりのない層に向けても、より広く情報を提供することができた。</p>
備 考	

事 業 名	インフォメーション事業				
収 入	129,015 円	支 出	880,072 円	自主財源比率	14.7%
事業内容	自主事業及び市内外の文化芸術情報の提供およびチケット販売を行っている。				
実 績	<p>(1) 文化情報プラザ運営 9:00~17:00</p> <p>(2) チケット販売 チケットカウンター 9:00~17:00 電話予約 8:30~21:30 WEB 予約 24 時間受付 ※コンビニエンスストア発券、クレジットカード他キャッシュレス決済に対応</p> <p>入金合計 6,552 件、11,817 枚、38,577,800 円</p> <p>受付区分 窓口 2,549 件、4,444 枚、11,224,400 円 電話 1,352 件、2,423 枚、8,042,300 円 WEB 2,408 件、4,417 枚、18,455,200 円</p> <p>引取方法 窓口 5,049 件 9,109 枚 26,841,600 円、 セブン 1,240 件 2,244 枚 9,268,900 円 郵便振替 24 件 52 枚 277,200 円、 チケットれすQ 239 件 412 枚 2,190,100 円</p> <p>チケットカウンターでの支払い方法 現金 3,948 件 4,343 枚 12,233,700 円 カード 868 件 1,750 枚 5,833,400 円、 電子マネー59 件 115 枚 297,800 円 QR コード 317 件 622 枚 1,811,100 円</p>				
成 果	現金以外の支払い方法を選択するお客様も増え、支払いの利便性が向上している。				
備 考	令和7年度4月より電子チケット(チケットれすQ)を導入することになったため、令和6年2月「水曜日のカンパネラ プレミアムライブ」のチケット販売より、電子チケット(チケットれすQ)の引取方法が増えている。				

事業名	友の会事業				
収 入	975,424 円	支 出	679,158 円	自主財源比率	143.6%
事業内容	<p>自主事業のチケット先行予約や割引など、各種優待サービスを受けられる有料の会員制度で、平成 14 年度から継続して運営している。平成 28 年 2 月より Web のみチケット先行予約が可能な無料の Web 会員制度を導入。</p>				
実 績	<p>《友の会 PiPi 有料会員》年会費 1,500 円、会員数 904 名（新規入会 269 名、更新 635 名） 《無料 Web 会員》11,472 名（新規登録者 1,940 人） 《提携ショップ》44 店舗</p>				
成 果	<p>令和 6 年度は、新規入会者は 269 名と、昨年よりも 141 名減少する結果となった。逆に、更新者が 635 名と、昨年よりも 83 名増加。2、3 月におこなった優待イベントの特徴は、「知名度は低い希少価値のある公演」を設定した点である。公演を「面白そう」と感じて来館したお客様に入会を促した結果であるため、爆発的な減少となる可能性は薄く、継続的に財団の事業に興味を持ってくださるお客様を獲得できたと考えられる。また、「松竹大歌舞伎」においては、従来おこなっていたハガキ申し込みを廃止し、通常の電話と web の予約方法に切り替え、運営上の手間を著しく軽減することができた。</p>				
備 考					

2 受託文化事業

事業名	第73回春日井市民美術展覧会		
日時	8/17(土)～25(日) 9:00～16:30(初日10:00開場、最終日15:00閉場) 9日間開催		
会場	市庁舎、ギャラリー		
入場料等	出品・入場無料		
入場者数	9,625名	入場率	—
		自主財源比率	—
受託料	4,794,608円	助成金	—
		支出	4,794,608円
事業内容	<p>市内在住、在勤、在学者を対象とした公募美術展覧会。審査会員による参考作品も同時に展示。開会式及び表彰式を8/17(土)に開催。会期中ギャラリートークを4回開催。</p> <p>応募614作品</p> <p>日本画31作品、洋画115作品、書207作品、彫塑工芸40作品、写真128作品 委嘱作品44作品、参考作品49作品</p> <p>賞/市長賞、財団理事長賞、教育委員会賞、市議会議長賞、観光コンベンション協会会長賞、奨励賞、高校生奨励賞、委嘱特別賞</p>		
成果	<p>5年間取り組んでいるインターネット申込受付が94件あり、昨年と比べ7件増加した。暑い季節でも外出せずに申込が出来る利点が認知されてきた。また、応募数は昨年と比較し41作品減少したが、10代の新規出品者が41名となった。高校生奨励賞を新設したこともあり、高校生の出品が103名と昨年より9名増加した。</p>		
備考	主催/春日井市、春日井市教育委員会 後援/中日新聞社		

事業名	第44回春日井市短詩型文学祭		
日時	1/25(土)～2/9(日) 9:00～17:00 14日間開催		
会場	交流アトリウム		
入場料等	出品無料		
入場者数	6,359名	入場率	—
		自主財源比率	—
受託料	1,558,011円	助成金	—
		支出	1,558,011円
事業内容	<p>市内在住、在勤、在学者を対象として、文化活動の普及・振興を図ることを目的とした市民公募の文学祭。作品展では、特別賞受賞作品45作品及び秀逸作品93作品と審査員及び実行員による作品16作品も同時に展示し、表彰式を2/2(日)に開催した。</p> <p>応募/21,747作品(一般の部1,021作品、小・中学生の部20,726作品)</p> <p>入賞/535作品 作品集無料</p> <p>【一般の部】短歌、俳句、川柳、狂俳、詩 【小・中学生の部】短歌、俳句、川柳、詩</p> <p>賞/市長賞、財団理事長賞、市議会議長賞、教育委員会賞、文化協会賞、秀逸、優秀(小・中学生のみ)、佳作</p>		
成果	<p>無料配布している作品集を2,000冊制作し配布した。広報物はより幅広い年代に気軽に応募してもらえるよう工夫し、一般の部で過去最高となる1,021点の応募があった。</p>		
備考	主催/春日井市、春日井市教育委員会、春日井市文化協会		

事業名	かすがい文化フェスティバル 2024				
ミッション	3 普及啓発ーひろがる 4 地域コミュニティ形成ーつながる				
会場	文芸館、市民会館				
参加者数	計 565 名	入場率	—	自主財源比率	—
受託料	522,626 円	助成金	271,239 円	支出	793,865 円
事業内容	<p>夏休み期間に小学生を対象とした体験講座を実施。水墨画、日本舞踊、囲碁など様々な伝統文化の魅力を小学生に伝える。9月には親子で楽しめる野外アニメーション映画会を開催。</p> <p>《伝統芸能体験講座》</p> <p>全 13 講座 24 回 参加者数：377 名</p> <p>(1) 「美しいお花をいけよう！」</p> <p>7/27(土)①10:00～10:50 ②11:10～12:00 会場：会議室</p> <p>参加料：500 円 参加者数：40 名</p> <p>講師：春日井市華道連盟（春日井市文化協会）</p> <p>(2) 「いろいろな濃さの墨で絵を描いてみよう！」</p> <p>7/27(土) 13:30～15:00 会場：視聴覚ホール</p> <p>参加料：100 円 参加者数：19 名</p> <p>講師：春日井水墨画協会（春日井市文化協会）</p> <p>(3) 「楽しく茶道を体験しましょう！」</p> <p>7/28(日)①10:00～10:50 ②11:10～12:00 会場：会議室、和室</p> <p>参加料：400 円 参加者数：40 名</p> <p>講師：春日井市茶道連盟（春日井市文化協会）</p> <p>(4) 「はじめての囲碁体験！」</p> <p>7/28(日)①11:00～12:15 ②13:00～14:15 会場：交流アトリウム</p> <p>参加料：500 円 参加者数：30 名</p> <p>講師：大澤健朗（囲碁棋士）ほか</p> <p>(5) 「お琴にさわってみよう！弾いてみよう！」</p> <p>8/8(木)①11:00～12:00 ②13:00～14:00 会場：視聴覚ホール</p> <p>参加料：100 円 参加者数：29 名</p> <p>講師：新箏曲みどりね会（春日井文化協会）</p> <p>(6) 「みんなで将棋体験！」</p> <p>8/9(金)①11:00～12:00 ②13:00～14:00 会場：交流アトリウム</p> <p>参加料：500 円 参加者数：54 名</p> <p>講師：室田伊緒（女流棋士・春日井広報大使）ほか</p> <p>(7) 「ねんどでお花のガラスドームを作ろう！」</p> <p>8/9(金) ①11:00～12:00 ②13:00～14:00 会場：視聴覚ホール</p> <p>参加料：300 円 参加者数：37 名</p> <p>講師：クレイクラフト・マロウ（春日井市文化協会）</p>				

- (8) 「『和のおどり』で楽しく運動しましょう！」
 8/10(土) 10:00～11:00 会場：会議室
 参加料：無料 参加者数：4名
 講師：精煌会（春日井市文化協会）
- (9) 「自分でゆかたを着てみよう！」
 8/10(土) ①11:00～12:30 ②13:30～15:00 会場：視聴覚ホール
 参加料：無料 参加者数：16名
 講師：春日井着装ききょう同好会（春日井市文化協会）
- (10) 「はかま姿で『能』を体験！」
 8/11(日祝) ①11:00～12:30 ②13:30～15:00 会場：市民会館
 参加料：無料 参加者数：9名
 講師：伊藤裕貴（能楽師）ほか
- (11) 「かつこよく着物を着て、日本舞踊を体験しよう！」
 8/12(月祝) ①11:00～12:00 ②13:30～14:30 会場：市民会館
 参加料：無料 参加者数：24名
 講師：春日井市日本舞踊協会（春日井市文化協会）
- (12) 「琵琶・胡弓・鼓 いろんな和楽器に触れてみよう！」
 8/12(月祝) ①11:00～12:00 ②13:30～14:30 会場：市民会館
 参加料：無料 参加者数：25名
 講師：春日井民謡協会（春日井市文化協会）
- (13) 「かつこいい演奏を聴いて、弾いてみよう！津軽三味線！」[再掲]
 8/15(木) ①11:00～12:00 ②13:30～14:30 会場：視聴覚ホール
 参加料：200円 参加者数：17名
 講師：小山豊・武田佳泉（東京民謡倶楽部）
- (14) 「日本一の和太鼓に挑戦してみよう！」
 8/22(木) ①11:00～12:30 ②13:30～15:00 会場：市民会館
 参加料：無料 参加者数：50名
 講師：転輪太鼓（春日井市文化協会）

《秋の夕暮れシネマ》

「獅雄少年/ライオン少年」

9/21(土) 18:30～20:15 屋外広場

入場無料 入場者数 188名

成 果

子どもたちが普段は触れる機会の少ない文化芸術体験の場を提供できた。囲碁と将棋の講座は、新型コロナウイルスの影響により昨年度まで親子対戦に限っていたものを、参加者同士で対戦する形に変えて交流を図ることができた。

備 考

主催/春日井市・公益財団法人かすがい市民文化財団
 助成/文化庁令和6年度伝統文化親子教室事業（地域展開）

3 共催事業

事業名	小野道風公奉賛 第76回 全国書道展覧会「道風展」		
日時	【本展】10/27(日)～11/4(月・休) 9:00～16:30 9日間開催 【VR展】10/27(日)～12/1(日) 36日間開催 【学生半紙の部巡回展】11/5(火)～12/1(日) 27日間		
会場	【本展】市庁舎、ギャラリー、交流アトリウム 【VR展】観光コンベンション協会会長賞以上の作品をインターネット上で公開 【学生半紙の部巡回展】JR春日井駅自由通路展示コーナー		
入場料等	出品料 第1～4部 5,000円 第5部 3,000円 学生条幅の部 1,300円 学生半紙の部 400円		
入場者数	7,288名	入場率	— 自主財源比率 —
収入	6,860,586円	助成金	— 支出 7,075,949円
事業内容	日本三跡の一人、小野道風の偉業を讃えて開催する全国公募の書道展覧会。開会式・表彰式を10/27(日)、に開催し11/3(日・祝)には作品解説会を開催した。 応募/5,702点 第1部(漢字)178点、第2部(かな)43点、第3部(近代詩文)59点 第4部(少字数)42点、第5部(小品)3点 一般部合計325点 学生条幅の部653点、学生半紙の部4,724点 学生部合計5,377点		
成果	本年度は、搬入日を部門で分けず、一括とし、陳列を1日で行った。また、表彰式では受賞者の名前と顔が一致する場面ができるよう進行を変更し、作業の効率化や出品者の満足度向上につながる取組ができた。式典については、受賞者が道風展での受賞を名誉なことと一層感じていただけるよう、展覧会の解説を取り入れるなど、さらなる改善点を見つけることができた。		
備考	主催/春日井市、春日井市教育委員会、小野道風公遺跡保存会、中日新聞社 後援/愛知県教育委員会 協賛/一般社団法人春日井市観光コンベンション協会		

事業名	2024 春日井市民第九演奏会		
日時	12/1(日) 15:00～17:00		
ミッション	5 活動支援—ささえる		
出演	指揮：井村誠貴 独唱：飯田みち代(ソプラノ)、相可佐代子(アルト)、安賜勳(テノール)、 梶貴志(バリトン) 管弦楽：春日井市交響楽団 合唱：春日井市民第九合唱団(合唱指導：松下伸也、西畑佳澄)		
入場料等	A席：1,500円 B席：1,000円		
入場者数	848名	入場率	97.8% 自主財源比率 —
収入	—	助成金	— 支出 —
事業内容	市民参加による毎年恒例の第九演奏会。ソリスト、春日井市民第九合唱団、春日井市交響楽		

	<p>団、と合わせて約 241 名の出演者が舞台に立った。</p>
成 果	<p>31 回目となる本公演では、「第九」の他に、これまで合唱団では取り上げてこなかった「セミクラシック」の合唱曲「木星」の合唱や、客席と一緒に「ふるさと」の合唱で会場を大いに盛り上げた。また、今回よりチケットの電話予約を開始し、チケット購入の利便性を上げた。</p>
備 考	<p>主催／春日井市、春日井市教育委員会、公益財団法人かすがい市民文化財団、春日井市民第九演奏会実行委員会 共催／春日井市交響楽団、春日井市民第九合唱団</p>

4 職員派遣

事業名	職員派遣
事業内容 実績	<p>(1) 愛公文セミナーⅠ・Ⅱ・Ⅲ 6/18(火)、7/23(火)、8/27(火) 10:00~17:00 愛知芸術文化センター</p> <p>(2) 名古屋芸術大学アウトリーチ座談会 6/27(木) 17:00~21:00 長久手市文化の家</p> <p>(3) フロントスタッフ養成講座 8/24(土) 13:30~15:30 武豊町民会館(ゆめたろうプラザ)</p> <p>(4) 劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援 支援員の派遣による支援 9/18(水) 13:30~17:00 中津川市中津川文化会館</p> <p>(5) 地域と人をつくるオルタナティブな劇場 ~春日井市の事例から「自分史から演劇」より~ 10/22(火) 18:30~21:00 世田谷文化生活情報センター</p> <p>(6) 舞台芸術人材養成ラボ 技能習熟プログラム「劇場職員セミナー」 1/15(水)、16(木) 10:00~16:45 愛知芸術文化センター</p> <p>(7) 春日井市立東部中学校職業講話会 2/7(金) 13:25~14:30 春日井市立東部中学校</p> <p>(8) トーク&ライティングイベント「市井の人の話を、聞くこと、書くこと、編むこと」 ※派遣職員 米本一成(1、6)、小松淳子(1、3、4)、西野裕之(2、7)、 山川愛(5、8)、松井和代(6)</p>
成 果	<p>劇場、音楽堂等の活性化に関する法律第8条に基づき、劇場間連携を促進するため、上記の研修等に当財団職員を派遣。派遣職員の専門性向上及び劇場間のネットワーク構築に役立っている。</p>
備 考	

令和6年度 施設利用状況まとめ（令和6年4月～令和7年3月）

(1)文芸館

施設名	利用可能日数	利用日数	利用率(%)	利用可能区分	利用区分	回転率(%)	利用件数				利用者数	利用者数計	前年度 利用件数、比較	前年度 利用者数、比較	
							貸館	財団 自主	一般	減免 公用					
1 ギャラリー	52	50	96.2%	312	278	89.1%	42	貸館	32	一般	25	20820	57,643	42	33,947
										減免	4	3664			
										公用	3	2857			
										受託	2	4269			
2 視聴覚ホール	307	243	79.2%	921	563	61.1%	291	貸館	198	一般	97	8791	23,917	276	23,075
										減免	17	2219			
										公用	84	8386			
										受託	10	144			
3 会議室	313	279	89.1%	1,878	1,157	61.6%	313	貸館	262	一般	18	715	7,692	311	8,406
										減免	40	842			
										公用	204	4166			
										受託	8	244			
4 文化活動室	308	268	87.0%	924	541	58.5%	306	貸館	282	一般	9	149	4,258	331	4,659
										減免	146	2359			
										公用	127	1331			
										受託	4	28			
5 和室	307	111	36.2%	1,842	322	17.5%	100	貸館	50	一般	32	228	953	119	1,149
										減免	8	524			
										公用	10	52			
										受託	1	52			
6 交流アトリウム	308	308	100.0%	924	1,316	142.4%	519	貸館	114	一般	0	0	26,524	480	28,499
										減免	5	2051			
										公用	109	6005			
										受託	18	6783			
合計							1,571	貸館	938	一般	181	30703	120,987	1,559	99,735
										減免	220	11659			
										公用	537	22797			
										受託	43	11520			
								財団 自主	633	共催	43	5262	100.8%	121.3%	
										主催	547	39046			

(2)市民会館

施設名	利用可能日数	利用日数	利用率(%)	利用可能区分	利用区分	回転率(%)	利用件数				利用者数	利用者数計	前年度 利用件数、比較	前年度 利用者数、比較	
							貸館	財団 自主	一般	減免 公用					
7 市民会館	307	233	75.9%	921	595	64.6%	210	貸館	164	一般	138	54256	80,958	190	81,348
										減免	2	1055			
										公用	24	12624			
										受託	6	174			
								財団 自主	46	共催	3	3087	110.5%	99.5%	
										主催	37	9762			

※利用率＝利用日数／利用可能日数 ※回転率＝利用区分／利用可能区分
 ※利用可能区分＝利用可能日数／月×利用時間3区分(午前・午後・夜間)。ただし、ギャラリーは週単位の貸館で時間区分なし。
 ※鑑賞者が特定しづらい展示利用の場合は、交流アトリウムの利用人数に含めない。
 ※交流アトリウムの回転率が100%を超えるのは、同日複数回の利用があるため

2 入館者数一覧(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

	利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期 合計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期 合計	合計	前年累計 (件・人)	対前年比 (%)
	開館日数	25	27	26	26	27	25	156	28	26	24	24	24	26	152	308	316	97.5%
ギャラリー	利用件数	4	2	3	4	2	4	19	4	5	1	5	3	5	23	42	42	100.0%
	利用者数	7,780	14,164	2,020	2,641	4,270	3,491	34,366	3,641	3,115	1,600	2,884	7,282	4,755	23,277	57,643	33,947	169.8%
視聴覚ホール	利用件数	13	16	24	28	27	31	139	27	31	21	26	24	23	152	291	276	105.4%
	利用者数	781	2,241	1,695	2,582	1,351	2,164	10,814	2,225	2,193	3,714	1,686	1,682	1,603	13,103	23,917	23,075	103.6%
会議室	利用件数	24	31	30	27	33	30	175	23	23	22	20	23	27	138	313	311	100.6%
	利用者数	363	799	624	589	547	856	3,778	646	612	555	583	603	915	3,914	7,692	8,406	91.5%
文化活動室	利用件数	27	25	25	30	25	25	157	23	31	24	25	19	27	149	306	331	92.4%
	利用者数	319	304	367	388	336	332	2,046	425	455	377	342	319	294	2,212	4,258	4,659	91.4%
和室	利用件数	9	9	7	6	7	10	48	7	14	9	6	8	8	52	100	119	84.0%
	利用者数	42	109	19	179	9	36	394	96	55	188	64	127	29	559	953	1,149	82.9%
交流アトリウム	利用件数	29	46	44	29	29	58	235	42	60	63	56	33	30	284	519	480	108.1%
	利用者数	729	2,296	813	606	435	2,169	7,048	2,315	2,760	2,448	7,427	2,695	1,831	19,476	26,524	28,499	93.1%
スカイフォーラム	利用者数	3,809	5,148	4,457	5,104	4,299	4,405	27,222	4,314	5,535	4,766	2,878	4,175	3,854	25,522	52,744	56,419	93.5%
ボランティアルーム	利用者数	74	102	87	124	131	114	632	94	97	79	89	149	103	611	1,243	1,101	112.9%
文化情報プラザ	利用者数	405	244	235	140	264	443	1,731	249	327	373	308	354	401	2,012	3,743	3,379	110.8%
日本自分史センター	利用者数	65	80	78	59	56	67	405	68	46	24	15	24	29	206	611	531	115.1%
計	利用件数	106	129	133	124	123	158	773	126	164	140	138	110	120	798	1,571	1,559	100.8%
	利用者数	14,367	25,487	10,395	12,412	11,698	14,077	88,436	14,073	15,195	14,124	16,276	17,410	13,814	90,892	179,328	161,165	111.3%

※鑑賞者が特定しづらい展示利用の場合は、交流アトリウムの利用人数に含めない。

※日本自分史センターは施設の特性上、利用者数の厳密なカウントが難しい。利用のほとんどは自分史相談と書籍の貸出し・返却であるため、この数を足したものを利用人数とみなす。

※ボランティアルームについては、人数が特定できる利用についてのみカウントする。

※文化情報プラザの利用者数=チケットカウンターにてチケットを購入した利用者数。

	利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期 合計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期 合計	合計	前年累計 (件・人)	対前年比 (%)
	開館日数	25	27	26	26	27	25	156	27	26	24	24	24	26	151	307	309	99.4%
市民会館	利用件数	9	16	21	15	28	18	107	23	21	14	17	15	13	103	210	190	110.5%
	利用者数	5,610	4,906	6,510	6,420	7,326	5,425	36,197	8,181	12,076	7,262	5,030	5,121	7,091	44,761	80,958	81,348	99.5%